

2025.11.10

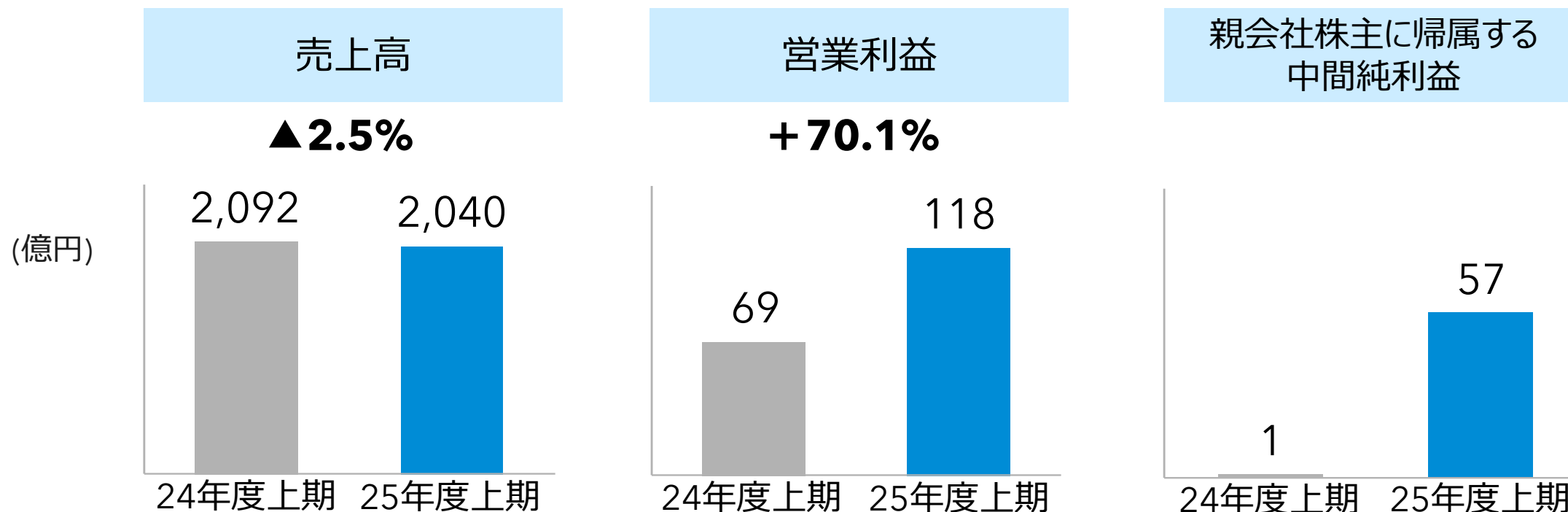
2025年度 第2四半期 決算説明

東洋紡株式会社

I . 2025年度 第2四半期決算の概要

第2四半期（中間期）実績

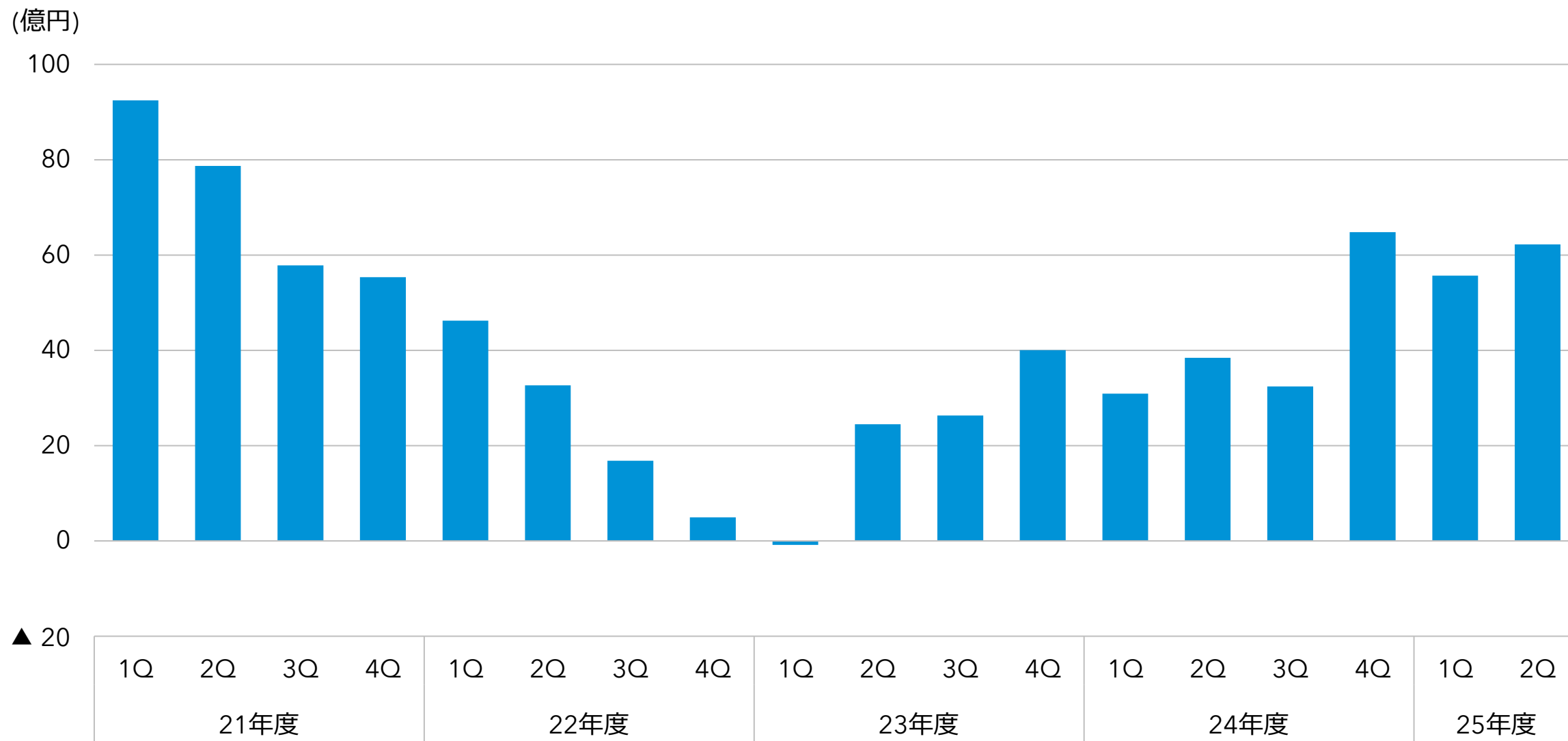
工業用フィルムは堅調持続、包装用フィルムの収益改善も加わり、増益。
営業利益は 118 億円、中間純利益は 57 億円



2026年3月期 通期予想

包装用フィルム、医薬、不織布マテリアルなどの収益改善、および工業用フィルムの需要堅調を踏まえ、
営業利益 230 億円、当期純利益 65 億円に上方修正

(参考) 四半期別営業利益推移



決算サマリー | PL, CF

TOYOB0

	24年度		25年度	増 減		(億円)
	上期	下期	上期	金 額	率	
売上高	2,092	2,129	2,040	▲ 51	▲ 2.5%	
売上総利益	473	498	507	+34	+7.3%	
(率)	22.6%	23.4%	24.8%	-	-	
営業利益	69	97	118	+49	+70.1%	
(率)	3.3%	4.6%	5.8%	-	-	
営業外損益	▲ 38	▲ 23	▲ 17	+20	-	
経常利益	32	74	101	+69	+216.3%	
特別損益	▲ 9	▲ 26	▲ 30	▲ 22	-	
非支配株主に帰属する中間純利益 (控除)	20	12	9	▲ 12	-	
親会社株主に帰属する中間純利益	1	19	57	+56	-	
EBITDA*	181	212	236	+55	+30.5%	
EPS (円)	1.3	21.4	65.0	-	-	
ROE*	1.0%		5.8%	-	-	
営業活動によるキャッシュ・フロー	171	130	275	+104	-	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 243	▲ 220	▲ 171	+73	-	
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 72	▲ 90	104	+177	-	
減価償却費	112	115	118	+7	+5.9%	
設備投資	250	182	160	▲ 90	▲ 36.0%	
研究開発費	72	70	68	▲ 4	▲ 6.0%	

* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)

* 25年度上期は年換算ベース。
(中間純利益×2)÷期首・期末平均自己資本

営業外損益・特別損益

営業外損益 内訳

(億円)

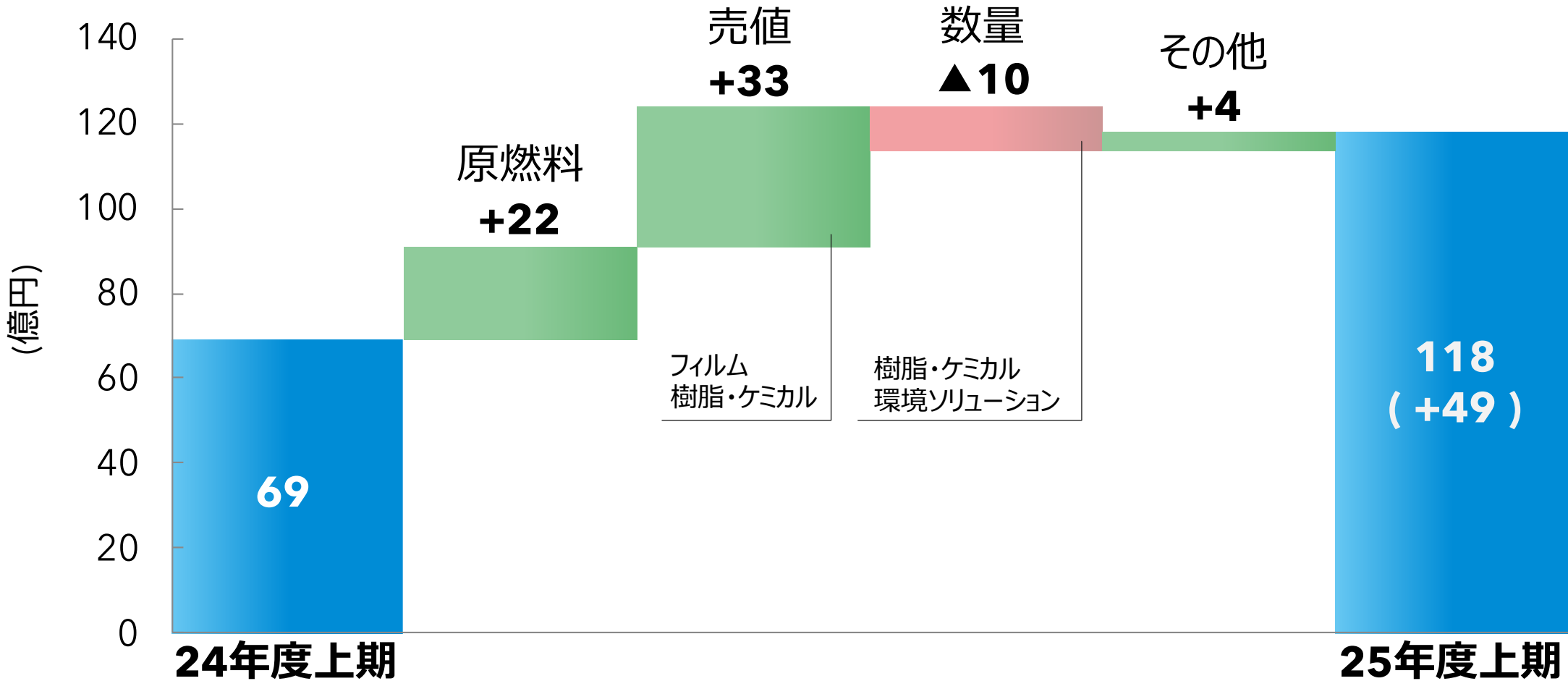
	24年度 上期	25年度 上期	増 減
受取補償金	5	0	▲ 5
その他	12	14	+2
営業外収益 計	17	15	▲ 2
支払利息	9	14	+5
その他	45	18	▲ 27
営業外費用 計	54	32	▲ 22
営業外損益 計	▲ 38	▲ 17	+20

特別損益 内訳

(億円)

	24年度 上期	25年度 上期	増 減
関係会社株式売却益	15	-	▲ 15
その他	1	-	▲ 1
特別利益 計	16	-	▲ 16
減損損失	10	-	▲ 10
固定資産処分損	14	10	▲ 4
割増退職金	-	11	+11
退職給付制度改定損*	-	9	+9
その他	1	-	▲ 1
特別損失 計	24	30	+6
特別損益 計	▲ 9	▲ 30	▲ 22

* 一部の連結子会社において退職給付制度の一部を廃止



	24 年度				25 年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
為替レート (円/US\$)	156	148	152	152	144	147
国産ナフサ (千円/kl)	79	77	73	74	65	64

	(B)		(A)	(億円)
	24/3末	25/3末	25/9末	増 減 (A)-(B)
総資産	6,070	6,178	6,096	▲ 82
現預金	338	286	260	▲ 25
売上債権	1,028	1,062	929	▲ 133
棚卸資産	1,220	1,190	1,260	+70
有形固定資産	2,815	2,965	3,004	+38
純資産	2,301	2,320	2,348	+27
自己資本	1,970	1,953	1,988	+35
うち利益剰余金	703	690	712	+23
非支配株主持分	331	367	359	▲ 8
有利子負債	2,492	2,679	2,624	▲ 55
D/E レシオ	1.26	1.37	1.32	-
D/E レシオ（資本性調整後） [*]	-	1.15	1.11	-

^{*} 劣後ローンおよび劣後債資本性調整後のD/Eレシオ

決算サマリー | セグメント別

TOYOB0

	売上高			(B) (A) (億円)				直近予想 (25/08) 上期
	24年度		25年度	24年度		25年度	増減 (A)-(B)	
	上期	下期	上期	上期	下期	上期		
フィルム	828	840	865	30	39	86	+56	53
ライフサイエンス	172	171	165	9	11	1	▲ 8	7
環境・機能材	552	556	507	34	46	31	▲ 3	33
機能繊維・商事	479	501	444	1	4	2	+1	3
不動産・その他	60	60	58	12	14	12	+1	11
消去・全社	-	-	-	▲ 16	▲ 17	▲ 15	+2	▲ 17
合計	2,092	2,129	2,040	69	97	118	+49	90

セグメント別 アクションプランの進捗

セグメント	アクション（2025年5月時点での計画）	進捗*
フィルム	■ 包装用フィルムの収益性改善と工業用フィルムの更なる拡大 ・包装用フィルム：生産体制見直し、新ライン稼働率アップ、価格改定による収益性改善（黒字化） ・セラコン用離型フィルム：新機台の確実な立ち上げ ・液晶偏光子保護フィルム：増産体制の確立	○ ○ ○
ライフサイエンス	■ 新ラインの確実な収益化 ・バイオ：生化学診断薬用原料酵素の拡販（増産効果） ・メディカル：人工腎臓用中空糸膜の一貫生産工場立上げ・収益化、プロセス膜事業化 ・医薬品製造受託：GMP体制維持。新規受注による収益性改善（黒字化）	▲ ▲ ○
環境・機能材	■ 東洋紡エムシー（株）：経営基盤の強化から成長策実行へ ・エンジニアリングプラスチック：海外需要の取り込み、製品価格の改定 ・環境ソリューション：BC膜*の販売拡大、VOC回収装置の新用途開拓 ・不織布マテリアル：国内生産体制の見直し（黒字化目途）	○ ▲ ○
機能繊維・商事	■ 収益改善と資産効率の向上 ・エアバッグ用基布：収益改善のロードマップ実行 ・衣料繊維：資産効率の改善	○ ○

* Brine Concentration

* ○：計画通り、▲：遅れ

(億円)

	24年度			25年度			上期増減		直近予想 (25/08)
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率	
売上高	421	407	828	446	419	865	+37	+4.5%	900
営業利益	15	15	30	40	46	86	+56	+186.5%	53
(率)	3.6%	3.7%	3.6%	9.0%	11.0%	10.0%	-	-	5.9%
EBITDA	39	39	78	65	71	136	+58	+74.1%	-

包装用フィルム

- 食品価格高騰の影響を受けて荷動きは悪化も、新設備の生産性改善を進め、収益が改善

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは、堅調に推移
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、販売が拡大

(億円)

	24年度			25年度			上期増減		直近予想 (25/08)
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率	
売上高	81	91	172	80	85	165	▲ 7	▲ 3.9%	200
営業利益	4	5	9	2	▲ 0	1	▲ 8	▲ 83.6%	7
(率)	4.6%	5.8%	5.3%	2.0%	-	0.9%	-	-	3.5%
EBITDA	12	13	25	11	10	21	▲ 4	▲ 15.9%	-

バイオ

- 診断薬用原料酵素の生産性改善の遅れにより、収益悪化

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜は、販売が堅調に推移

医薬

- 製品価格の改定により、収益性が改善

(億円)

	24年度			25年度			上期増減		直近予想 (25/08)
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率	
売上高	281	272	552	254	253	507	▲ 45	▲ 8.2%	550
営業利益	13	21	34	15	16	31	▲ 3	▲ 9.0%	33
（率）	4.5%	7.7%	6.1%	5.8%	6.3%	6.0%	-	-	6.0%
EBITDA	24	32	56	26	27	53	▲ 3	▲ 5.4%	-

樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、海外向けの自動車用途の販売が減少も、製品価格の改定が進む
- 工業用接着剤“バイロン”は、塗料・接着用途や電子材料用途の販売が増加

環境・ファイバー

- 環境ソリューションは、EV市場減速の影響により、
LIBS*製造工程で使用するVOC回収装置の出荷が減少
- 不織布マテリアルは、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善

* リチウムイオン電池セパレータ

(億円)

	24年度			25年度			上期増減		直近予想 (25/08)
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率	
売上高	240	239	479	219	225	444	▲ 35	▲ 7.4%	450
営業利益	2	▲ 1	1	1	1	2	+1	+52.5%	3
(率)	0.8%	-	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	-	-	0.7%
EBITDA	8	5	14	7	8	15	+1	+9.2%	-

衣料繊維

- 中東向け特化生地は、強い需要により販売が増加
- スポーツ用途は、国内生産拠点を集約

エアバッグ用基布

- 日系顧客のアジアでの減産影響あり

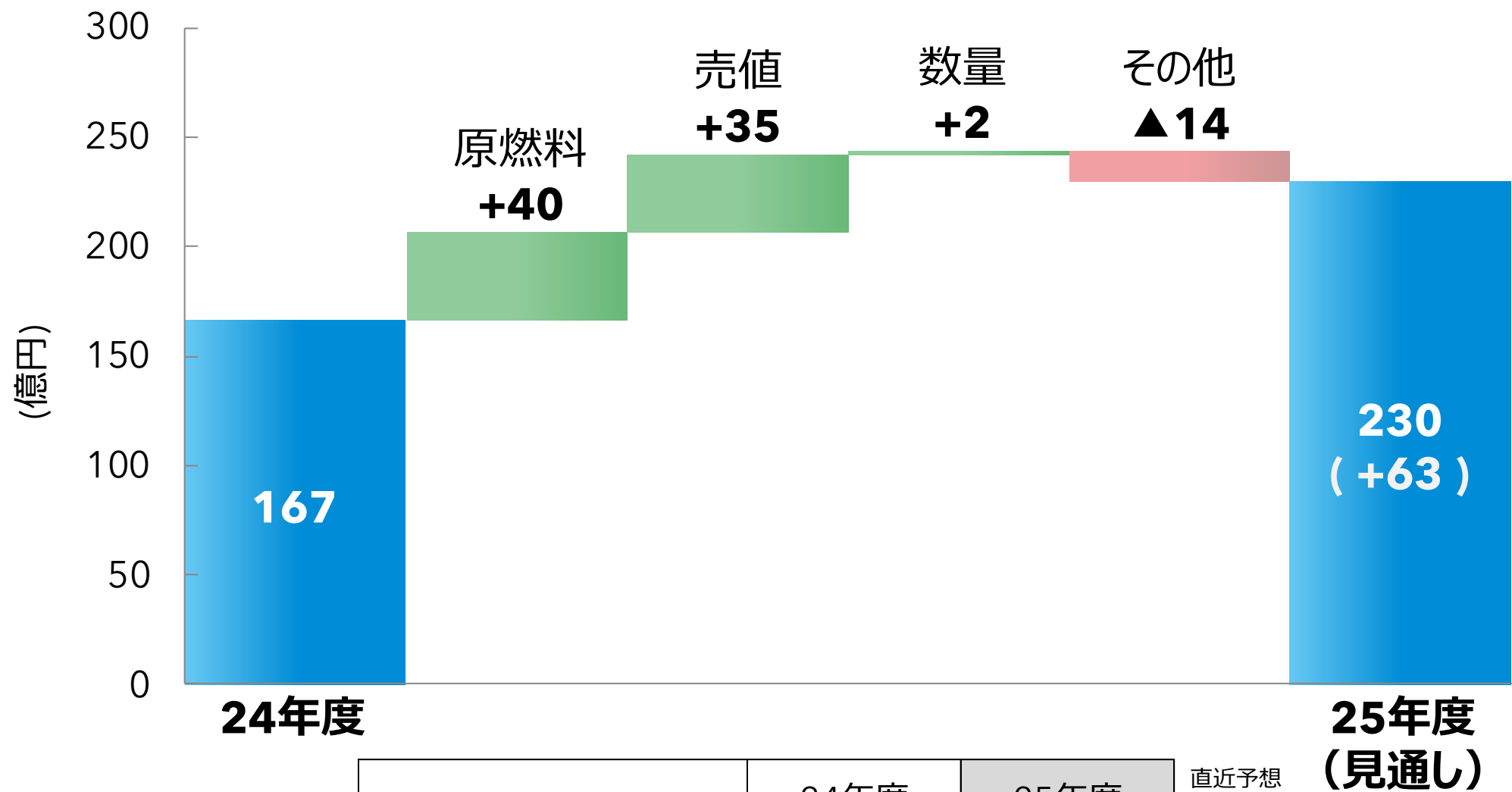
2025年度の事業環境見通し

セグメント	事業	前回見通し (2025年8月時点)	今回見通し	
			対前回*	
フィルム	包装用	前年度並みの需要	▲	荷動きが鈍化
	工業用	液晶偏光子保護フィルムは前年度並みの需要	－	前年度並みの需要
		MLCCはAIサーバー向けを中心に需要拡大	－	AIサーバー向けを中心に需要拡大
ライフサイエンス	バイオ	生化学診断薬用酵素は需要堅調	▲	生化学診断薬用酵素は需要堅調 中国市場の競争激化
	メディカル	人工腎臓用中空糸膜は需要堅調	－	需要堅調
環境・機能材	樹脂・ケミカル	自動車用途は米国相互関税の影響懸念	－	米国相互関税の影響懸念
		電子材料用途は需要回復基調	－	需要回復基調
	環境・ファイバー	VOC回収装置はEV化減速の影響継続	－	EV化減速の影響継続
		不織布マテリアルの厳しい競争環境は継続	－	厳しい競争環境は継続
機能繊維・商事	エアバッグ	アジアの減少に加え、米国相互関税の影響懸念	－	アジアの減少に加え、米国相互関税の影響懸念
共通		国産ナフサ価格は低下傾向	○	国産ナフサ価格は低下傾向

2025年度 業績見通し

包装用フィルム、医薬、不織布マテリアルなどの収益改善、および工業用フィルムの需要堅調を踏まえ、
営業利益 230 億円、当期純利益 65 億円に上方修正

	24年度	25年度			増 減		直近予想 (25/08)	(億円)
	実績	上期	下期	見通し	金 額	率		
売上高	4,220	2,040	2,210	4,250	+30	+0.7%	4,400	
営業利益	167	118	112	230	+63	+38.1%	210	
(率)	3.9%	5.8%	5.1%	5.4%	-	-	4.8%	
経常利益	106	101	74	175	+69	+65.2%	155	
特別損益	▲ 34	▲ 30	▲ 25	▲ 56	▲ 21	-	▲ 45	
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	57	8	65	+45	+224.5%	45	
EBITDA	394	236	239	475	+81	+20.7%	460	
EPS (円)	22.7	65.0	8.7	73.7	-	-	51.0	
減価償却費	227	118	127	245	+18	+7.9%	250	
設備投資	432	160	150	310	▲ 122	▲ 28.2%	350	
研究開発費	143	68	82	150	+7	+5.2%	150	



	24年度	25年度
為替レート (円/US\$)	152	149
国産ナフサ (千円/kl)	76	64

直近予想
(25/8)
145
65

セグメント別見通し

TOYOB0

売上高	24年度 実績			25年度 見通し			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
フィルム	828	840	1,668	865	845	1,710	+42
ライフサイエンス	172	171	343	165	205	370	+27
環境・機能材	552	556	1,108	507	603	1,110	+2
機能繊維・商事	479	501	981	444	496	940	▲ 41
不動産・その他	60	60	120	58	62	120	+0
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,092	2,129	4,220	2,040	2,210	4,250	+30

直近予想 (25/08)			対25/08予想 通期増減
上期	下期	通期	
900	850	1,750	▲ 40
200	210	410	▲ 40
550	620	1,170	▲ 60
450	500	950	▲ 10
60	60	120	0
-	-	-	-
2,160	2,240	4,400	▲ 150

営業利益	24年度 実績			25年度 見通し			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
フィルム	30	39	69	86	34	120	+51
ライフサイエンス	9	11	20	1	24	25	+5
環境・機能材	34	46	80	31	56	87	+7
機能繊維・商事	1	4	5	2	9	11	+6
不動産・その他	12	14	26	12	10	22	▲ 4
消去・全社	▲ 16	▲ 17	▲ 33	▲ 15	▲ 20	▲ 35	▲ 2
合計	69	97	167	118	112	230	+63

直近予想 (25/08)			対25/08予想 通期増減
上期	下期	通期	
53	37	90	+30
7	28	35	▲ 10
33	54	87	0
3	8	11	0
11	11	22	0
▲ 17	▲ 18	▲ 35	0
90	120	210	+20

Ⅱ. 2025年度 経営方針 アクションプランの進捗

I. 2025中期経営計画 当初計画

- サステナブル・ビジョン2030の前半、「つくりかえる・仕込む 4 年」の位置づけ
- 4つの施策：
 - ①安全・防災、品質の徹底 ②事業ポートフォリオの組替え ③未来への仕込み ④土台の再構築

II. 2025中期経営計画 進捗確認

- 2025年度利益目標から大きく乖離。大型投資先行もあり、財務体質悪化
- 事業ポートフォリオの組替えに遅れ
 - ・成長投資、東洋紡エムシー (株) 立上げ、要改善事業対策は着実に実行
 - ・包装用フィルムの収益悪化、複数の投資案件で立上げ遅れ、固定費増

III. 2025年度以降の取組み ⇒ “2025年度 経営方針 アクションプランの進捗”

- 要改善事業対策、成長投資の確実な回収、生産性改革・コストダウン
⇒ 早期に営業利益300億円、ROE 5 %への回復
- 新の創出 ⇒ 利益上積み、2030年度までにROE 8 %超をめざす

未来をつくるために稼ぐ力を取り戻す

(1) 安全・防災、品質、コンプライアンスの徹底（大前提）

(2) 価値に見合ったプライシングの徹底

- ・ 経営によるプライシングの実行フォロー

(3) 要改善事業対策

- ・ 早期の事業黒字化、正常化に向けた対策実行

(4) 投資の確実な回収と新の創出

- ・ 成長投資の着実な立上げ、全社フォロー
- ・ 開発投資の効果実現による利益拡大

(5) 投資・経費の絞り込み、コストダウン

- ・ 設備投資の圧縮
- ・ 全社プロジェクトによる販管費見直し、加工費コストダウン

(6) 使用資本の圧縮

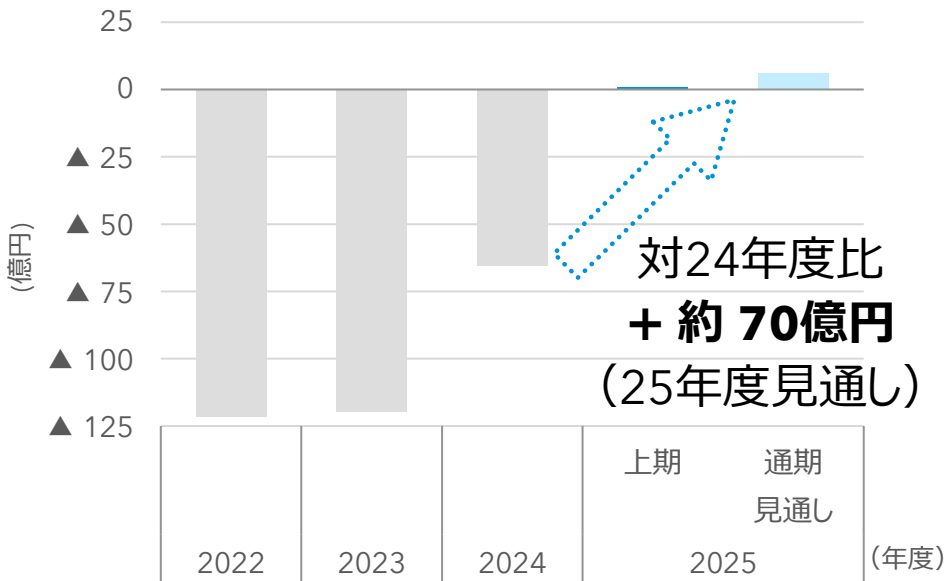
- ・ 運転資金増の抑制、事業ポートフォリオ改革

黒字化ロードマップ

赤字 黒字

事業	2024年度	2025年度 見通し	2026年度～
衣料繊維		更なる資産効率改善の追求	
医薬品製造受託		GMP体制維持、更新ライン稼働、新規案件獲得	
エアバッグ用基布		タイ原糸工場稼働率向上、生産体制見直し	
包装用フィルム		新機台の早期収益化(全社フォロー) 環境貢献製品へのシフト加速	
不織布マテリアル		開発品の強化 外部委託生産の拡大	

営業利益推移（5事業合計）



2025年度第2四半期において、すでに 5 事業合計で黒字化。
正常化に向けた取り組みが、計画通りに進行

2025年度 経営方針 | (4) 投資の確実な回収

主な成長投資計画（フィルム、ライフサイエンス）

セグメント	内容	投資金額*1 (億円)	投資効果実現時期（年度）				現況
			2023	2024	2025	2026～	
フィルム	・ OPPフィルム 生産設備（犬山）	70					25年度 稼働済 生産性向上中
	・ セラコン用離型フィルム 加工設備2号機（敦賀）	60*2					25年度 稼働済
	・ セラコン用離型フィルム 製造設備（宇都宮）	200					25年春 商業生産開始 25年度末頃にフル生産を予定
	・ 液晶偏光子保護フィルム 製造設備（敦賀）*3	-					25年度下期に改造工事 26年度に量産開始を予定
ライフサイエンス	・ 生化学診断薬用原料酵素 製造設備（敦賀）	70					24年度 稼働済
	・ PCR検査試薬・遺伝子診断薬用原料 製造設備（敦賀）	65					25年度 稼働済
	・ 人工腎臓用中空糸膜 一貫生産工場（秋田）	50					25年10月から販売開始

*1 概数 *2 1号機との合算金額 *3 既存ライン改造

□ : 計画 □ : 見通し（25年5月） ■ : 実績

成長投資の確実な立上げにより、早期マネタイズにつなげる
利益創出 2024年度比 +100億円（2028年度）

全社プロジェクトによる生産性の改革、コスト構造変革（やめる、まとめる、つなげる）
利益寄与額 2023年度比 +50億円（2027年度）

■ 間接材費のコストダウン

スタッフ部門を中心に、
業務委託費の削減など

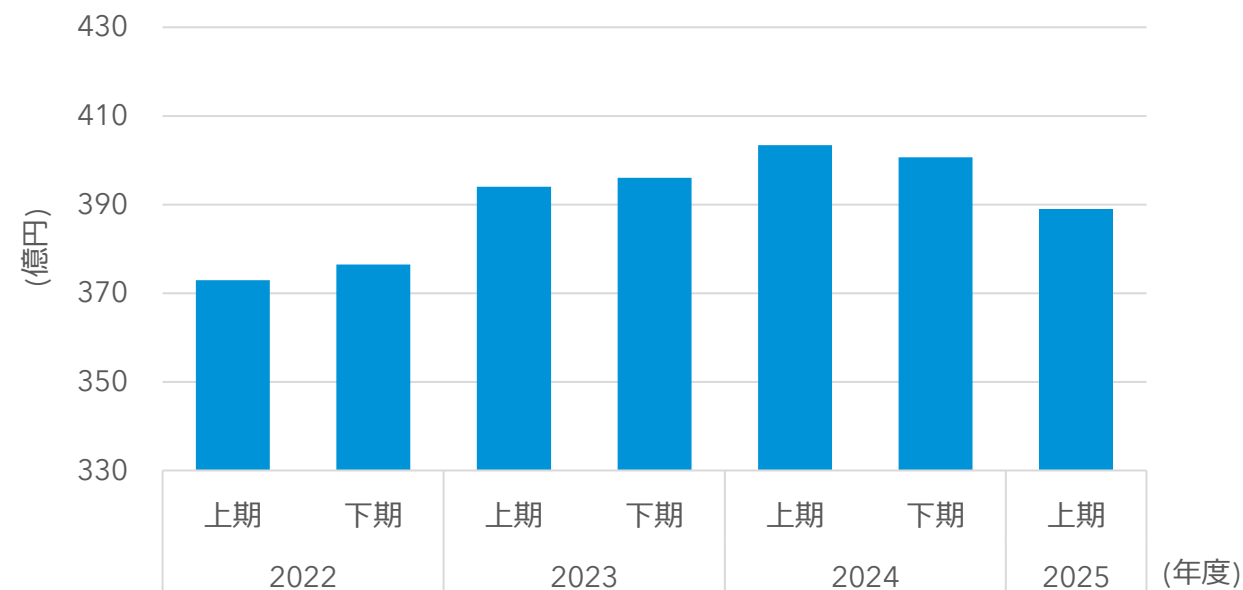
■ 事業所・工場のコスト競争力強化 （共通部門費見直し、事業再配置）

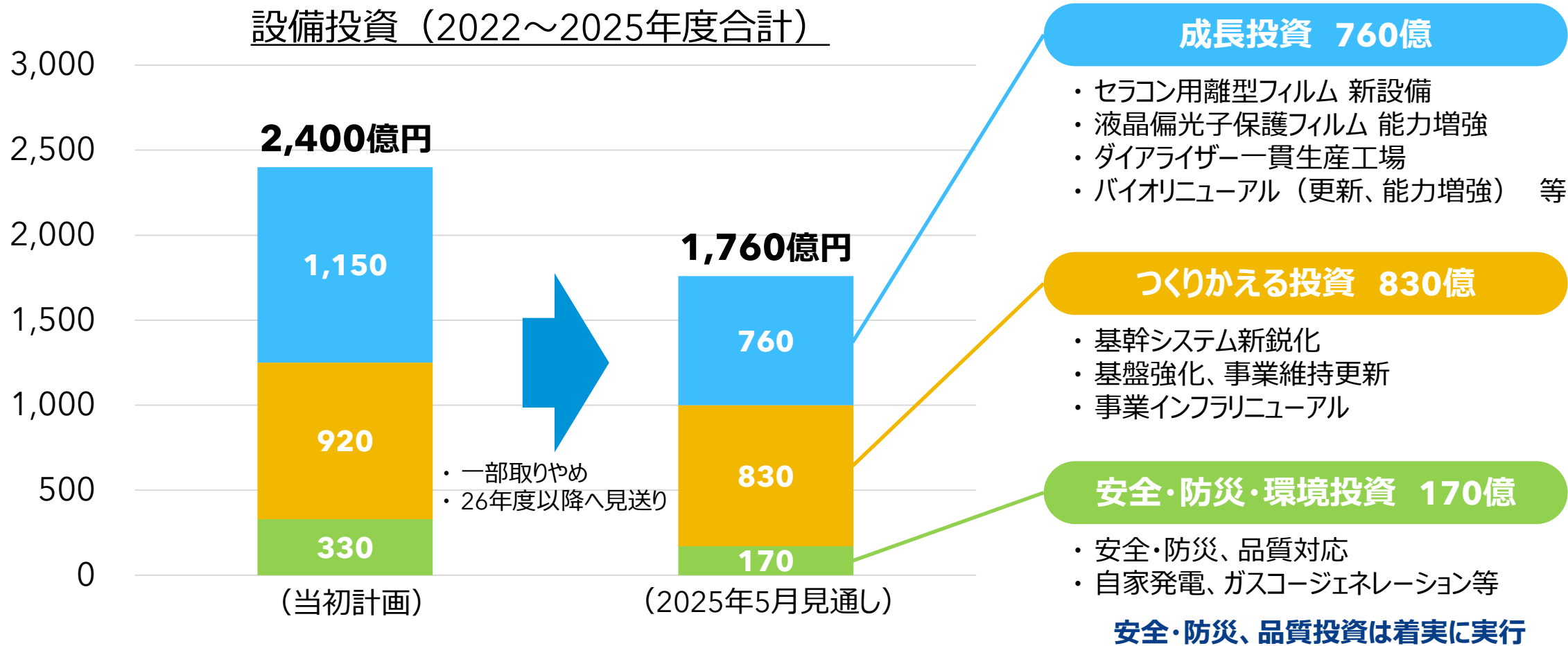
主要事業所・工場から着手、進行中

■ 業務効率・生産性向上 （業務品質を上げつつコストを下げる）

人材最適配置、
データ資産活用的高度化など

販売費及び一般管理費の推移（半期）

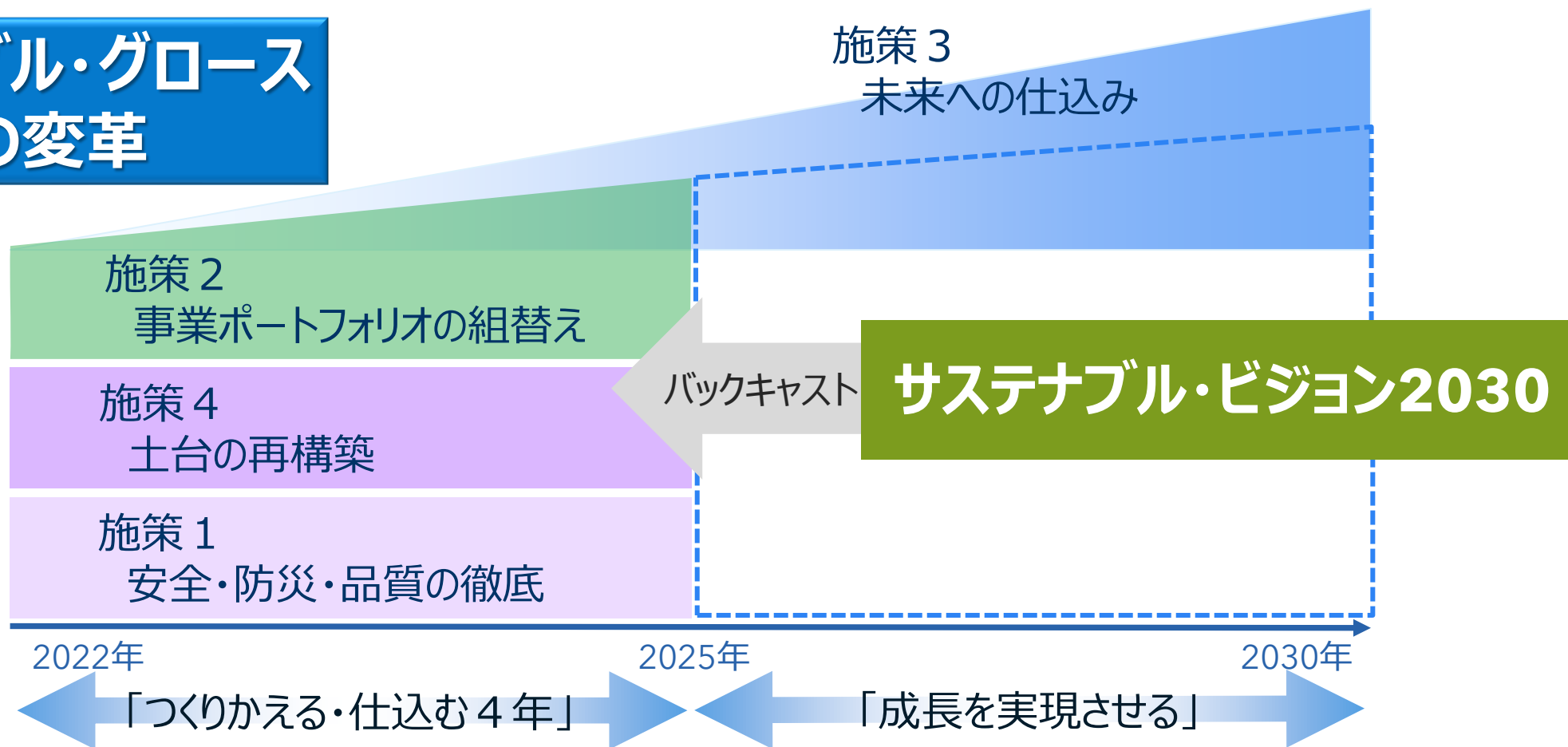




	22年度	23年度	24年度	25年度 見通し	2022～25年度 合計
設備投資（億円）	392	566	452	350	1,760

*CFベース

サステナブル・グロース への変革



基本方針：

事業ポートフォリオ改革の実行と投資効果の発現により、
財務体質改善とROE 8%超をめざす

補足

(億円)

売上高	24 年度					25 年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
フィルム	421	407	421	420	1,668	446	419
ライフサイエンス	81	91	85	86	343	80	85
環境・機能材	281	272	283	273	1,108	254	253
機能繊維・商事	240	239	233	268	981	219	225
不動産・その他	29	31	29	32	120	30	28
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,052	1,040	1,051	1,078	4,220	1,029	1,011
営業利益	24 年度					25 年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
フィルム	15	15	8	31	69	40	46
ライフサイエンス	4	5	6	5	20	2	▲ 0
環境・機能材	13	21	23	23	80	15	16
機能繊維・商事	2	▲ 1	▲ 0	5	5	1	1
不動産・その他	5	7	6	8	26	5	7
消去・全社	▲ 7	▲ 9	▲ 10	▲ 7	▲ 33	▲ 7	▲ 8
合計	31	38	32	65	167	56	62

東洋紡グループ統合報告書「TOYOBO REPORT 2025」を公開

主な内容

- CEOメッセージ
- 長期ビジョン「サステナブル・ビジョン2030」、「2025中期経営計画（2022～2025年度）」
- 価値創造プロセス、東洋紡の強み、液晶偏光子保護フィルムを事例とした価値創造サイクル
- 人材戦略、イノベーション戦略、グリーン戦略、事業戦略
- 社外取締役対談 など

ダウンロードURL

日本語版：<https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir/library/integrated.html>

英語版：<https://ir.toyobo.co.jp/en/ir/library/integrated.html>



アナリスト・機関投資家向け 事業説明会（予定）

➤ **ライフサイエンス事業 12月1日（月）**

後日、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」にて、説明資料を掲載予定

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

